

令和 5 年度下水道課の主な取組

施策 0 1 災害に強いまちづくり 基本的取組 0 1 - 2 災害に強い都市基盤の整備 <基本計画事業> 下水道施設の浸水・地震対策の推進

◆総合的な浸水対策の推進
(浸水対策)

①令和元年台風第19号の再度災害防止に向けた大規模ポンプ施設設置等の対策工事に関する現況調査・基本設計等 **【予算計上額8202万2000円】**

令和元年台風第19号の再度災害防止に向け、調布市下水道浸水被害軽減総合計画（令和4年度策定）に基づき、狛江市と連携し、大規模ポンプ施設設置等の対策工事に関する基本設計等を実施（令和10年度工事完了想定）

②市内全域の総合的な浸水対策に向けた雨水管理に関する総合計画の検討

【予算計上額1824万6000円】

市内全域を対象とした総合的な浸水対策に向け、雨水管理に関する総合計画（令和7年度策定予定）の調査・検討を実施

◆下水道管路の耐震化の促進
(地震対策)

③小口径管路の耐震診断の実施及び地震対策の実施方針の策定 **【予算計上額1620万3000円】**

・調布市下水道地震対策に関する基本方針（平成30年度策定）で“重要な幹線等”と分類した小口径管路の耐震診断を継続

・中・大口径管路の地震対策の手法の検討や“重要な幹線等”と定めた管路以外の管路の地震対策の優先順位等の整理を行うため、地震対策に関する実施方針を策定

施策 3 0 快適な生活環境づくり 基本的取組 3 0 - 3 持続可能な下水道事業経営 <基本計画事業> 下水道施設の老朽化・劣化対策の推進

◆下水道施設の予防保全管理への
転換の推進
(老朽化・劣化対策, 自然流下化)

④公民連携手法活用による下水道管路の予防保全型維持管理の推進

【予算計上額776万1000円】

予防保全型の維持管理への転換を持続的に行うため、管路の維持管理業務の一部への包括的民間委託（複数業務を一括して複数年度契約する公民連携手法）の導入に向けた取組を推進

⑤下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の老朽化・劣化対策の実施

【予算計上額 4億4609万7000円】

不具合が生じる前に対応する予防保全型の維持管理の取組として、調布市下水道ビジョン及び調布市下水道ストックマネジメント計画（令和2年度策定）に基づき、管路の劣化状況の点検（約1100スパン）、下水道管の補修（6スパン）・改築（約130m）やマンホール蓋の交換（約200箇所）工事を実施

※スパンはマンホールとマンホールの間を1スパンとする単位（市内全域で約23,000スパン）

⑥仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化（ポンプによる圧送方式から管路新設による自然流下方式への切替）工事の実施

【予算計上額 7億7438万9000円】

令和6年度の工事完了に向け、ミニシールド工法や推進工法によるトンネル掘削を開始

◆下水道事業の財務マネジメントの
向上及び情報発信の強化
(経営管理, 情報発信)

⑦下水道ビジョンに掲げた経営戦略の再検証

【予算計上額56万8000円】

持続可能な下水道事業経営を目指し、中長期的な収支見通しを踏まえた事業費の平準化や財源確保に向けた検討など、調布市下水道ビジョンの経営戦略の再検証（令和6年度改定予定）に着手

②市内全域の総合的な浸水対策に向けた雨水管理に関する総合計画の検討

<背景>

①気候変動の影響等を踏まえた「流域治水」への転換に向け、ハード・ソフト両面からの総合的な浸水対策の推進の必要性の増大

本市の下水道は、西町・野水地区を除き、1時間当たり50ミリの降雨に対して雨水を排除できるよう整備が完了している状況

近年の気候変動の影響等を踏まえ、河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策（国が主導）である「流域治水」への転換に向け、庁内外での横断的な連携による取組など、ハード・ソフト両面からの総合的な浸水対策の推進の必要性が増大

〔流域治水のイメージ〕



②令和3年度の流域治水関連法改正により対策目標の設定が明確化

「流域治水」への転換を受け、令和3年度に流域治水関連法改正の一環で下水道法が改正され、国の認可を受けている公共下水道事業計画の今後の記載事項として「計画降雨（内水による浸水被害の発生を防ぐ目標降雨）」の追加が規定され、対策目標の設定が明確化

※内水による浸水被害：市街地（堤防の内側）にある側溝やマンホール等の排水能力を超え、水があふれる水害

⇒市内全域を対象とする、内水による浸水被害防止に向けた総合的な浸水対策に向け、浸水対策のマスタープランとなる、雨水管理に関する総合的な計画(雨水管理総合計画)を策定

<事業概要>

- 以下の項目で構成される**雨水管理方針を取りまとめ**
計画期間、策定主体、下水道計画区域、計画降雨(整備目標)、段階的対策方針
- 雨水管理方針に基づき、**ハード・ソフト対策に関する段階的対策計画を取りまとめ**

<策定体制>

外部有識者、行政職員で構成する「雨水管理総合計画策定検討委員会」を設置し検討（主な議題）

- 整備目標、段階的対策方針について
- ハード・ソフト対策に関する段階的対策計画について

<スケジュール>

- 令和5年度 市内全域の浸水シミュレーションの実施
- 令和6年度 雨水管理方針、段階的対策計画の整理
- 令和7年度 パブリックコメント、計画策定予定

<東京都の取組>

- 令和4年8月 東京都豪雨対策検討委員会を設置（調布市も委員）
将来の気候変動を踏まえた今後の豪雨対策について検討
 - 令和5年度 基本方針（案）取りまとめ予定
- ※現在の「東京都豪雨対策基本方針（平成26年6月改定）」における、多摩地域の目標降雨は1時間65mm降雨

⑦下水道ビジョンに掲げた経営戦略の再検証

<背景>

①調布市下水道ビジョンに掲げた経営戦略の再検証の時期が到来

令和2年度に策定した調布市下水道ビジョン（計画期間：R3～R12）において、今後30年間の財政見通しを推計した投資・財政計画を含む経営戦略を整理

その後の決算確定や状況変化に伴う推計額と実績額の乖離を検証するため、計画期間の中間見直しに向け、再検証の時期が到来

②中長期的な収支のあり方の検討が必要

持続可能な下水道事業経営を目指し、中長期的な収支見通しを踏まえた事業費の平準化や財源確保の必要性について検討

○事業費の平準化（現状）

- ・平成30年度に下水道ストックマネジメント基本計画を策定
→予防保全型の維持管理への転換を推進

○財源（現状）

- ・資金の状況（下水道ビジョンでの試算結果）
資金収支は現在は黒字であるが、企業債借入に伴う元金償還額増加により徐々に減少
令和13年度以降はマイナスに（30年後の令和33年度に資金残高が枯渇）
- ・下水道使用料
消費税増税を除くと、平成12（2000）年4月の改定から20年以上据置
（下水道使用料単価は令和3年度決算において、多摩地域で2番目に安価）
令和3年度決算の経費回収率は100%を下回っており（89%）、下水道使用料で賅うべき対象経費に対し、下水道使用料収入が不足している状況

<検証体制（予定）>

外部有識者、行政職員で構成する

「（仮称）調布市下水道事業経営戦略改定検討専門委員会」を設置し検証

（主な議題）

- ・下水道事業の現状分析及び将来の事業環境の分析・収支改善策の検討

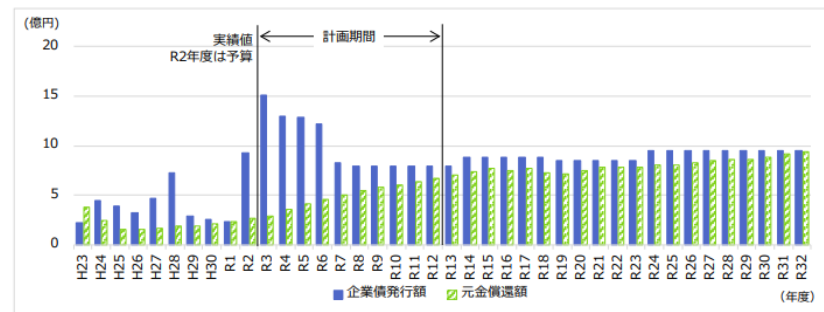
<スケジュール>

令和5年度 下水道事業経営の現状と課題の整理、今後の収支見通しの再検証

令和6年度 経営課題解決に向けた財務シミュレーション、
経営戦略改定（素案）のパブリックコメント、
「調布市下水道事業経営戦略」（改定版、計画期間：R7～R16）策定

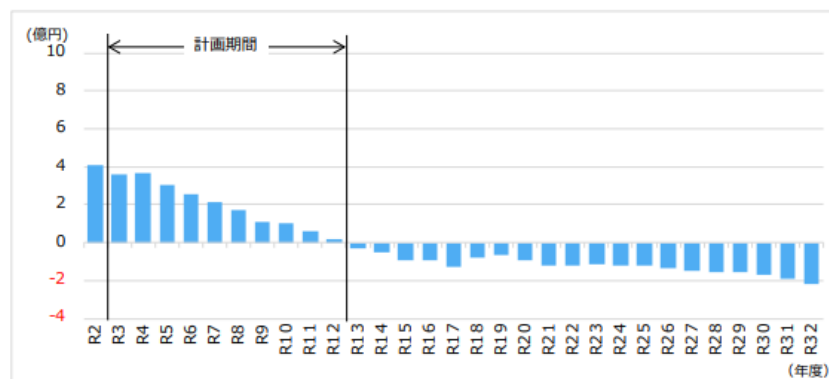
〔企業債借入額（発行額）と元金償還額の見通し〕

（下水道ビジョンより/H23（2011）年度～R32（2050）年度まで）



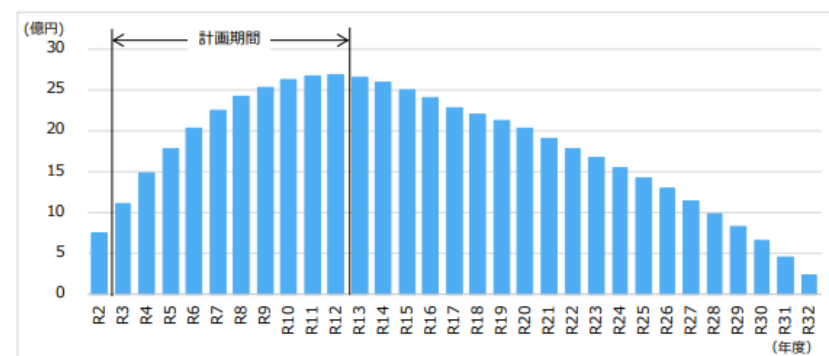
〔単年度の資金収支（キャッシュ・フロー）の見通し〕

（下水道ビジョンより/R2（2020）年度～R32（2050）年度まで）

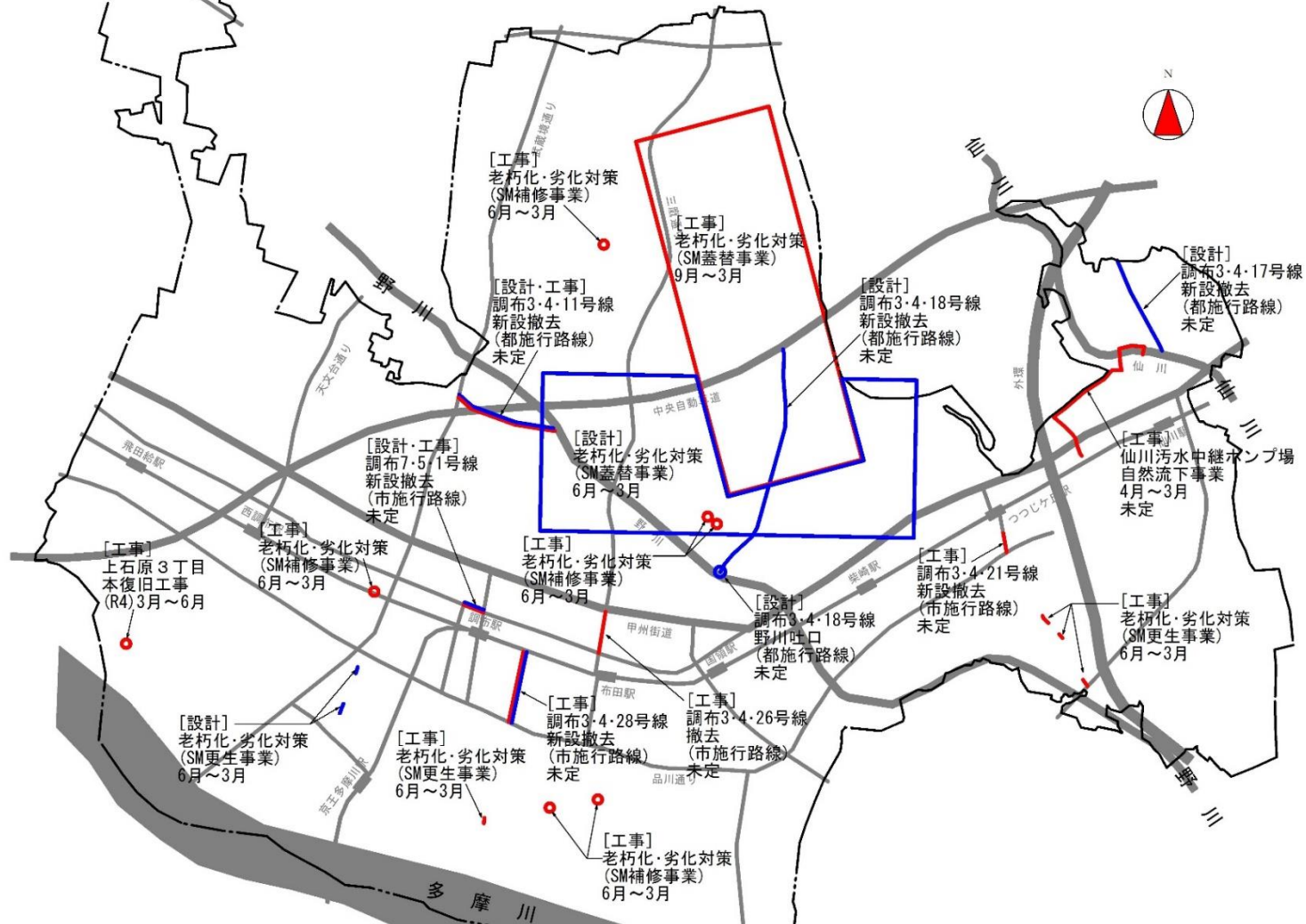


〔資金残高の見通し〕

（下水道ビジョンより/R2（2020）年度～R32（2050）年度まで）



調布市公共下水道事業箇所図（令和5年度予定箇所図）



凡例

- : 本年度工事・負担金箇所
- : 本年度設計箇所
- 市内全域 : 耐震診断・雨水管理総合計画箇所